

2020年1月23日
九州旅客鉄道株式会社
キャタピラー九州株式会社
JR九州エージェンシー株式会社



現場のHEROを応援し九州の未来づくりを目指す

キャタピラー社ラッピング新幹線が登場します

このたびJR九州グループの「キャタピラー九州(株)」に建設機械を供給する「キャタピラー社」(以下CAT社)が、九州新幹線800系を使ってラッピングトレインを運行することとなりました。

今回の企画は、近年発生した熊本地震などの自然災害からの復興現場はもちろん、九州各地の様々な現場の第一線で活躍している皆様=HEROを応援したいというCAT社の思いと、「九州を元気にしたい」というJR九州グループの思いが、ラッピング新幹線となって結実したものです。

デザインにはCAT社の建機と現場のHEROが九州各地で活躍する躍動感とともに、春の到来を印象づけるコーポレートカラー「CATイエロー」があしらわれています。

2020年、早春の九州をキャタピラー新幹線(CAT新幹線)が疾走します！

1. ラッピング新幹線概要

- (1) 名称 CAT(キヤット)新幹線
(2) 車両 九州新幹線800系(1編成、6両)
(3) 運行期間 2020年2月1日(土)～4月末日(予定)

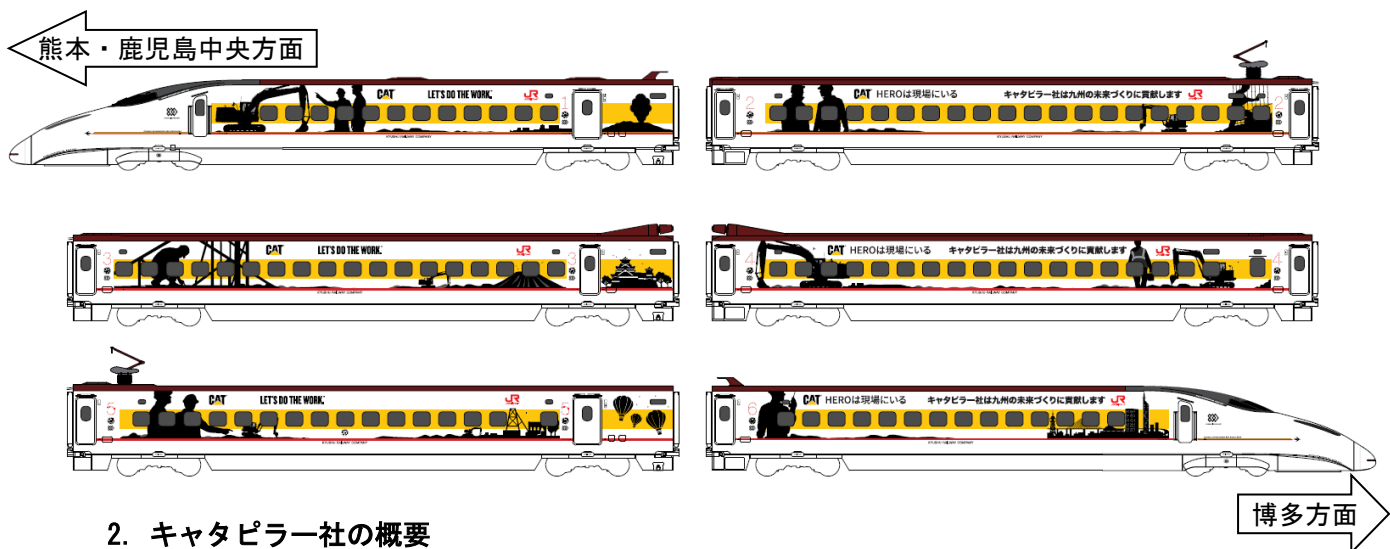
※運行初日は、博多駅11:41発つばめ321号で出発式を行います。

博多駅から当該列車つばめ321号にご乗車されるお客さま先着200名様に、運行開始を記念して“CATイエロー”にちなんだ「イエローチューリップの輪花」をプレゼントします

- (4) 運行区間 博多～熊本～鹿児島中央 ※「つばめ」「さくら(一部)」として運行

※運行スケジュールは運転日毎に変わります。※運行スケジュールはHP等での公表は行いません。

- (5) デザイン



2. キャタピラー社の概要

建設機械の歴史は、1925年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。

【日本法人について】

会社名

キャタピラージャパン合同会社
(英称: Caterpillar Japan LLC)

本社所在地

横浜市西区みなとみらい3丁目7番1号
OCEAN GATE MINATOMIRAI

創立

1963年(昭和38年)11月4日

資本金

10億円

代表執行役員

Joe Moscato (モスカト) ・ 豊浦信海 ・ 塚本恵

参考(災害復旧時に活躍するCATの建設機械について)

自然災害に対する建設機械の役割

台風や集中豪雨、地震によって生じた土砂災害、火山の噴火に伴って生じる火砕流や土石流などの復旧作業にあたり、二次災害が想定される場所に、「無人化施工」が利用されます。特に近年、九州においては自然災害が相次ぎ、安全な場所から建設機械を遠隔操作し、工事を実施する施工システムとして、各地でCATの建設機械が導入されています。

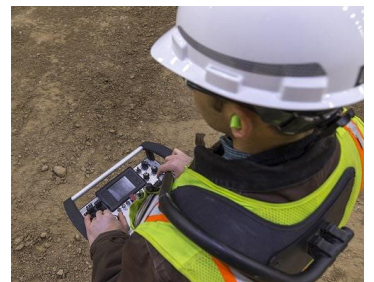
「無人化施工」を可能にする遠隔操作技術は、雲仙・普賢岳の火砕流からの復旧工事で導入が進み、この現場においてCATの建設機械が、その優れた性能や耐久性を活かし、無人化施工技術の確立に貢献いたしました。

CATの技術革新

「無人化施工」技術のための情報化施工や最新の技術は、現在も継続して発展しています。昨年には、平常時は日々の現場で稼働させながら、災害時には専用のリモートコントローラーによる制御へ切り替えるだけで迅速に災害対応が可能な「普段使いの防災建機」の販売を開始いたしました。



対応機種 of 油圧ショベル 320



リモートコントロールで操作する様子

熊本地震復旧における活躍

2016年4月に発生した熊本地震の国道57号線阿蘇立野地区大規模崩落現場においては、余震や更なる崩落の危険がある現場において、「無人化施工」が実施され、その多くがCATの建設機械が採用され活躍いたしました。



建機を遠隔で操作する様子



阿蘇の復旧現場で活躍する建機

